

読書3

生徒達は、誠に真摯に、自分を常に顧みて、自分を鼓舞し、定期試験のために才能と努力を全うし今日に至ったのであります。

本来の高校生活にいそしむ時間を惜しむことなく勉学に費やし、日々睡眠の時間を削り、事ここに及んで、定期試験を見事に乗り切ったのです。

しかし、これから追試験や、残されたセンター試験までの月日を一秒一秒数えながら、友達と共にお互いを励まして、じっと耐えつつ実りの日々まで、更なる才能と努力をこれでもかとおつき込まなければならないのであります。

そのことは分かっているが、是非心の余裕を持って、毎日寝る前には少しでも読書をとと言われてみても、やらなければならない数々の細々とした知識の確認を続けなければ、自分を生かす道などありはしないとして、歩く間も惜しんで、単語の一つでも自分のものにしようとするしかないことは自明の理であります。

各教室を回ると、カードにいそしむ少しのゆとりの時間も指摘され、苦虫をつぶして鉛筆を握らなければならないことは、生徒諸君自身が分かっております。

それでも、40年経った今でも、もう少し勉学にいそしむべきではなかったかと、今の私は自己を振り返るのです。極めればよかったことが、数知れず残されており、今もそのことはいつも頭から離れないのも事実です。後悔先に立たずであります。それは生徒諸君に是非とも伝えたい。

後悔 五つの感情・その一 谷川俊太郎

あのおときああすればよかったと
そんなやくざな假定法があるばかりに
言葉で過去を消そうとするけれど
目前の人っ子ひとりいない波打際は
目をつむっても消え去りはしない
せめて上手に後悔しよう
過去を苦い教訓に未来を夢見る事は
あの日のあなたのかげがえのない
こわれやすい愛らしさを裏切ることになる
くり返す波の教えるのは
ただの一度も本当のくり返しは無いという事
けもののように言葉をもたなかったら

このさびしい今のひろがりを
無心に吠えながら耐える事もできようものを

後悔のない日々はないけれど、できるだけ後悔しないような準備にいそしんでいきましょう。寝る間を惜しんで一人耐えるのはつらいことですが、明日を信じて前を向いて下さい。私はここで見守っています。